**川越白門会**

**２６度定期総会を開催**

４月２０(日)、会場:ラ・ボア・ラクテにおいて、来賓、横田敬二入間、大沢英雄むさしの、中島信夫坂戸、大石勝彦狭山、江野邦夫東松山、千野利一飯能等の埼玉西部地区各白門会会長ならびに副会長等のご出席を頂いて盛大に開催された。

夕刻、５時３０分より、猪鼻副会長の開会の辞、関根副会長の司会で、まず校歌斉唱、次いで秋庭会長からの挨拶、そして議長で総会が開始された。各議案は猪鼻、久保田、滝嶋、佐野氏等役員から報告され、今年度で会長職を退任される秋庭会長から新役員人事案が提案され、新会長に就任した松永会長から２６年度事業計画案が提案され、全議案が承認可決されて新しい体制となった。

早速、新会長に就任した、松永会長から就任の挨拶を頂き、引き続き相談役に就任した、秋庭前会長に花束贈呈がなされ、秋庭相談役からは謝辞、そして十年を振り返り、特に、平成１７年には現自民党副総裁の高村正彦代議士をお迎えして講話を頂いた事、１９年には、元気だった土屋義彦前埼玉県知事等をお迎えして川越で学員会埼玉支部総会を開催したこと等が述べられた。

次いで当白門会恒例の講演会は、「川越氷川祭りについて」の演題で、ご祭神でもある川越氷川神社の宮司山田禎久様から大変興味深い講和を頂いた。

第三部の懇親会は、賑やかに執り行われ、各白門会長等の挨拶を頂き、午後９時近くに終了した。

秋庭敏男

